

「主や爾によぶ」生神女讃詞 3 調

日曜日

ザピエフ

光 栄は父と子と聖神に帰す、今も いつも 世世 - に アミン

1
万物を宰制する 至浄なるものよ、我 霊の諸欲にはげしく 制せらるる

1 2
もの - を 爾の熱心なる転達 及び 母の祈禱をもって 積 き て

終結
爾の子及び神に 服役 せしめ たま - - え

月曜日

ザピエフ

光 栄は父と子と聖神に帰す、今も いつも 世世 - に アミン

1
入らざる ひかりの 雲たる神の恩寵を 蒙れる少女 マリヤよ

1 2
我無知にして罪過の幽暗に 困まるる者のために 痛悔の 光を

1
輝かしたま - え 至浄なる 童貞女よ 爾の祈禱をもって

1
爾の覆いの下に 趨りつくものを ゲンナの火及び外の幽暗より

終結
すすくいて 暮れざる火に与る 者と な - し たま - - え

火曜日

ザピエフ



光 栄は父と子と聖神に帰す、今も いつも 世 世一にアミン

1 2
至浄なるものよ、爾が己の子、十字架に在るを 見ると一き、

1
つるぎは 爾の心 を 刺して、 爾 よ べーり、

2
産の後に我を童貞女と守りし 我 が か み よ、

終止
我を子なき者とな 一すなか 一ーれ。

水曜日

ザピエフ



光 栄は父と子と聖神に帰す、今も いつも 世 世一にアミン

1 2
潔きものよ、 爾が 奇跡の力は 大い な ーり

1
蓋し爾は患難よりた す け 死より救い、待たざる禍より 脱れしめ

終結
憂いをを 解 一き 人々の罪過を のぞき たま 一ーう

金曜日土曜日

光栄は父と子と聖神に帰す今もいつも世世にアミン

いと尊トキときものやわれらいかで汝が神人カミヒトを生みしに

おどろかさらんや至イってきずなきものや汝は夫のいざオット

ないをうけずして世のなき先サキより母なく父に生まれいざ

さかも変カり或いはまじりアル或いは分ワれをうけず三ミつの性セイの

質シツを全マツうして守マモれる子コを父チなく身ミにて生ウめり故ユヱに

母童貞女ハハトウジヨウメ女メさいや正しく汝を生神女シヨウシンメとうけとむるものの

たましいの救スツわるることをかれにいのりたまえ